

平成24年度運営方針

コミュニティ放送局は、末端放送局と言われることがある。しかし、住民に最も身近な放送局は、に最先端でなければならない。従って、時代が大きな転換期を迎えている今こそ、先導者として何なすべきかを見定めて、より良い番組づくりに励みリスナーの拡大に努めていく必要がある。

そこで第19期は、これまで以上に『ふるさと 近きにありて 創るもの』との考え方を軸にして、域防災情報の提供はもとより、地域イベント等に積極的ににかかわりながら存在感を高め、また、秋区内のコミュニティ協議会との連携を強化することで、まちづくりに寄与しつつ新規顧客の獲得にめる。

1. 重点事項

- 秋葉区の個性・特性に目を向け、「ふるさと再発見」につながる計画をコミ協に提案し、コミ協とで計画を実践する。
- 行政、商工団体、農業団体、ボランティア団体、コミ協等が主催するイベント等を積極的に取りあげるとともに、可能な限り参画する。
- 秋葉区外の新規顧客の拡大に留意する。
- 経常経費の一層の節減に努める。
- より良い番組づくりを目的に研修機会を充実する。

2. 主要事業

- 株主総会・取締役会……随時
- 番組審議委員会議……年6回
- 新潟市定例市議会中継放送……年4回
- 防災情報提供……通年
- 緊急告知FMラジオ起動電波発信実験……毎月第3日曜日
- 秋葉区内の行政情報番組「クリック秋葉区」……月～金
- 地域情報番組「なじらねラジオ」……月～金
- 第10回アフターヌーンジャズライブ……7月
- ふるさと再発見事業……随時(コミ協共催)
- 各種イベントの告知放送及び司会進行……通年
- アナウンサー研修……年6回

3. 収支予算(H24.4.1～H25.3.31)

科 目	予 算 額 単位:千円(消費税込)
事業収入	53,600
事業支出	52,392
①番組費	9,377
②技術費	4,088
③販売費	6,584
④人件費	24,643
⑤管理費	7,700
法人税	350
当期損益	858
累計損益	▲14,468